

日本語講師（非常勤） 募集

【このような方を求めています】

一人一人の学習者を対等な存在として認め、共に成長しながら指導して下さる方を歓迎します。
クラス授業経験者が望ましいですが、未経験の方もご相談ください。

以下の(1)(2)(3)のいずれかの要件を満たす方が原則として対象となります。

- (1) 学士以上で、420 時間以上講習修了
- (2) 日本語教育能力検定合格
- (3) 大学の日本語教育に関する主専攻または副専攻修了

【本校について】

留学生の生活と勉学を 60 年にわたりサポートしてきた公益財団法人アジア学生文化協会が 2014 年 4 月に開校した 2 つ目の学校です。タイ、台湾、ベトナム、マレーシア、香港、中国、韓国、ミャンマー、モンゴル、など、様々な国の学生が集まり、学びの雰囲気にあふれています。

また、教材開発、短期コース受入れ、大学等の受託講座などもあり、ご相談の上、担当していただく場合があります。

次ページに、大学院日本語教育研究科の学生の皆さんが授業見学をした時のレポートの一部を掲載しています。よろしければご覧ください。

【募集内容】

募集人数：4 名程度

勤務内容：日本語のクラス授業 2018 年 7 月または 10 月から週 1~3 日程度

9:00~12:30 (45 分×4 コマ) または 13:30~17:00 (45 分×4 コマ)

当初翌年 3 月までの契約（試用期間 3 か月）。更新の可能性あり。

待 遇：1 コマ 2,000 円～ 経験、能力により加算（未経験の方は 1 コマ 1,700 円～）

補習、面接練習などを依頼する場合は、別途業務手当あり

クラス担当（担任）の場合はクラス担当手当あり

交通費：往復 2,000 円まで実費支給

応募方法：3 月 10 日までに手書きの履歴書をお送りください。

ただし随時面接、決まり次第締め切ります。

履歴書フォームは当校の HP(<http://www.abk.ac.jp>) よりダウンロードしてください。

応募前のご訪問も歓迎します。お問い合わせください。

選 考：第 1 次 書類審査、 第 2 次 教案、模擬授業、面接

研 修：採用後、必要に応じてトレーニングを実施します。

本校が実施する勉強会、研修会にも参加できます。

【応募・問い合わせ先】

学校名：学校法人 ABK 学館日本語学校 HP：<http://www.abk.ac.jp>

住 所：113-0021 東京都文京区本駒込 2-1-2

最寄駅：都営三田線千石駅徒歩 3 分・山手線駒込駅・巣鴨駅徒歩 15 分

連絡先：TEL 03-6912-0756 FAX 03-6912-0757

E-mail info@abk.ac.jp 担当：亀山

以上

決して、ここにあげられたようないいことだけというわけではありません。

しかし、全体として、このような雰囲気を持った学校です。

この学校を、さらに発展させるための仲間として参加してくださる方を歓迎します。

【学校全体の印象】

- ・学校内部も明るく、清潔感があって、心地よかった。 (6月2日 Aさん)
- ・周囲も静かで環境的にも勉学に恵まれているなど感じました。 (6月8日 Eさん)
- ・建物全体がバリアフリーになっているところも、様々な学習者に学ぶ機会を与えていくうえで大切なことだと思った。校舎に入ると授業前に学生と教師が話していて、学生と教師の距離が近いと感じた。日頃の授業で信頼関係が築けている証だと思った。 (6月9日 Oさん)
- ・学習者がとても活発に発言していて、明るく、真面目な学生が多かったように感じます。校舎も清潔で広く、開放感がありました。 (6月15日 Uさん)

【授業見学で気づいたこと】

- ・学生同士、特に異国間の生徒同士の繋がりが強いことは、授業での活動や学校全体の雰囲気作りに貢献していると考えられる。 (6月2日 Aさん)
- ・国別に固まらず、分かれて座席が配置され、活発なグループワークが可能。学習者が基本的学習態度を身に付けていること（授業に集中し授業中の携帯使用・私語がない。グループワークに積極的に関わる、休み時間にも日本語を使用している）。「学びたい」という視線の中で授業ができるというのは羨ましい限りである。 (6月8日 Eさん)
- ・見学させていただいたクラスは、学生同士の仲が非常に良いように見受けられた。それぞれの個性を尊重し合っている感じがした。「一緒に学ぶ」という姿勢を持っている学生が多いように感じた。とても生き生きと学習に取り組んでいるように見受けられた。全体を通して教師は常に「社会と自分（学習者）とを引きつける」ことを意識して授業を設計していたと思う。社会に存在する一人間として、学習者が考え、考えを日本語で発信していくようにする仕掛けが、授業にふんだんに盛り込まれていたように思う。 (6月9日 Oさん)
- ・地域の人が定期的にクラスに入っているようで、学生も、ボランティアの人と話すことに慣れているようだった。学生は日本語を話す機会、日本人と話す機会が多くなり、教室外でも自信を持って日本語が話せるようになって感じた。学生のミニ作文を見せてもらったが、いろいろな内容で書かれていた。内容も自分にひきつけたものが多く面白かった。 (6月12日 Fさん)
- ・クラスの雰囲気がとてもよく、明るく活発で、発言もたくさん出ていて、楽しい授業でした。授業中、学習者が寝たりスマートフォンをいじったりしないのはもちろん、きちんと授業に集中していたのは、授業そのものが面白く、また上手く注意をひきつけていたからだと思います。 (6月15日 Uさん)
- ・学生さんたちが本当に楽しそうに、それぞれ様々な発想をしてそれを一生懸命日本語でクラスメートに伝えようとしている姿が印象的でした。 (6月15日 Kさん)
- ・生徒の様子をみていると、自分の意志で学んでいるという姿勢が見受けられました。 (6月15日 Wさん)

以上